



山形県西川町に学ぶ 自治体の財源を作れる

9/25 NFTセミナー

山形県西川町の実在する公園の命名ができるNFTのオークションが行われ、130万円で落札されました。

関係人口の創出と地域の活性化を柱に、自治体がNFTを活用して自主財源を確保する成功事例についてお伝えします。

山形県西川町

政策アドバイザー

とししげ かずひこ
利重 和彦

<自治体からの委嘱等>

千葉県鎌ヶ谷市 地域づくりコーディネーター
千葉県鎌ヶ谷市 都市計画マスタープラン策定委員
千葉県鎌ヶ谷市 協業推進委員
千葉県鎌ヶ谷市 観光ビジョン策定委員
山形県西川町 政策アドバイザー
福島県只見町 ふるさと大使
静岡県牧之原市 シティプロモーションアドバイザー
福岡県うきは市 観光振興計画策定委員
温泉ソムリエ 地域活性化マスター、他



山形県西川町政策アドバイザー委嘱式より

自治体がNFTの導入により得られる効果

- (1) 交流人口・関係人口の創出および拡大
- (2) 来訪者による経済の活性化
- (3) 移住・定住の促進
- (4) 知名度向上
- (5) 財源確保

自治体の財源を作るNFTセミナー

まずはニュース映像をご覧ください。(2分48秒)



【本日、お伝えしたいこと】

自治体はNFTをどのように活用すればよいか

- (1) デジタル住民票NFTの発行
- (2) 地域の特産品のNFT化
- (3) 自治体所有物の命名権NFTの発行

【山形県西川町のご紹介】

山形県中央部にある西川町は、人口約5千人で、出羽三山の月山と朝日連峰の朝日岳が南北に位置します。豪雪地帯で、清流日本一の寒河江川が流れ、観光名所となっている月山湖を中心に自然に恵まれた町です。また、国道112号や山形自動車道が通る交通の要所でもあります。

The screenshot shows the official website of Nishikawa Town. At the top left is the town logo with the text '月山のある町 西川町 NISHIKAWA TOWN'. To the right are utility links for '文字サイズ' (font size), 'サイトマップ' (site map), 'ご意見・ご提言' (opinions/suggestions), '各課のご案内' (department guides), and '背景' (background) with '白' (white) and '黒' (black) options. Below these is a search bar labeled 'サイト内検索' and a '検索' (search) button. A green navigation bar contains buttons for 'ホーム' (home), '町民の方へ' (for residents), '観光情報' (tourism information), '事業者の方へ' (for business operators), and '町政情報' (town government information). Below the navigation bar are language options: English, 中文(簡体字), 中文(繁体字), 한글, Русский язык, Português, Español, Français, and 翻訳について. The main content area features four promotional tiles: 1) '個人版 ふるさと納税' (Individual version of hometown gift tax) with an image of rice and a mountain; 2) '企業版 ふるさと納税' (Corporate version of hometown gift tax) with an image of industrial buildings; 3) '月山自然水が飲めるNFT' (NFT that can drink Moon Mountain natural water) with an image of a water bottle and a woman; 4) '西川町のパートナー企業' (Partner companies of Nishikawa Town) with an image of a handshake and a city skyline.



西川町のキャラクター
ガッさん

自治体の財源を作るNFTセミナー

山形県西川町は、全国初の「自治体公式NFT」を販売。
販売開始1分で、**販売数量1000個**を超える注文殺到！
その後、購入需要の約13.4倍に到達！

日本初 自治体が発行する
デジタル住民票NFT

HEXA
NFTマーケットのヘキサ

人口 4,732人*に対し **13,440個** の購入需要 *2023年4月1日現在 (住民基本台帳)

Nishikawa Town Digital Residents NFT
山形県西川町デジタル住民票 NFT

Nishikawa Town Digital RESIDENTS

月山のある町
西川町
NISHIKAWA TOWN

開始わずか
1分で
販売数量を上回る
購入申込み

販売数量の
13.4倍
購入需要

山形県西川町 デジタル住民票NFT

自治体が財源を確保しながら、
関係人口を創出するツール

全国初の「自治体公式NFT」を販売

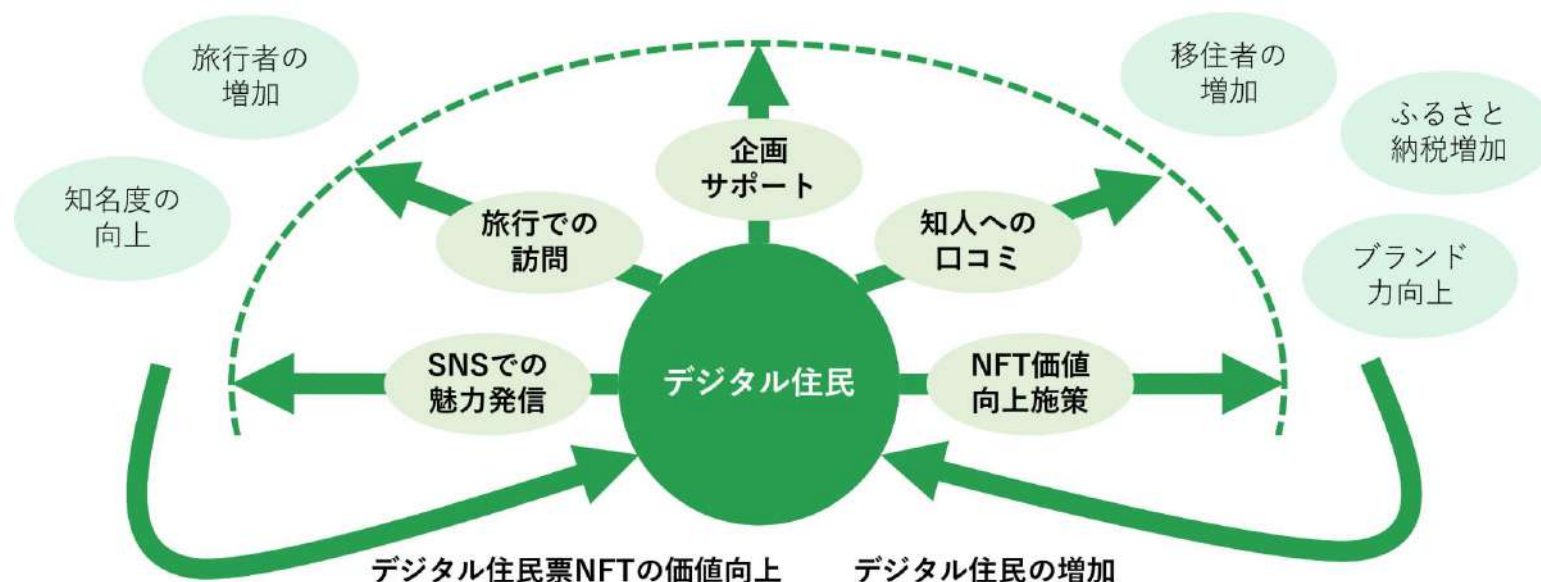
販売開始1分で1000円NFTに、**販売数量1000個**を超える注文殺到！

販売日開始日だけで購入需要の約13.4倍に到達！

山形県西川町のデジタル住民になることができるNFT。

保有者は町長も参加するオンラインコミュニティに参加でき、西川町のメタバースでのイベントなどが予定されています。

また、温泉入浴無料などの特典も得ることができます。



デジタル住民票NFT発行の主目的は
交流人口・関係人口の創出および拡大です。
これまで数回、全国のデジタル住民との交流会を
メタバース空間でおこないました。



全国のデジタル住民と西川町長との交流メタバース

金曜トピック

デジタル住民票は公的な証明書ではなく、西川ファンの証しといった位置づけだ。1個千円とし、保有者はメタバース内で町長を含む「デジタル住民」と会話でき、町内温泉が入浴無料などの特典を設けた。販売は抽選で行われ、倍率は10倍以上となった。

複製や改ざんを難しくしたデジタルデータ「非代替性トークン(NFT)」を使った取り組み。町は4月にNFT市場を運営するメディアエイクイティ(東京)と包括連携協定を結んだ。同社によると、自治体主体でデジタル住民票を発行するのは全国初。町の担当者は「珍しい取り組みといふことで」今

関係人口拡大を目指し西川町が4月に千個限定で販売した「デジタル住民票」に、1万3440個分の申し込みがあった。同町を知らなかったが、デジタルに関心を持つ若者からの購入が目立つという、町にとって新たな層とのつながりが生まれた。今月はインターネット上の仮想空間「メタバース」内で保有者の交流会を開いた。町は、「デジタルを生かしたまちづくりと交流促進に力を入れる。」

西川町「デジタル住民票」13倍の抽選

のうちに買っておこう」と、NFTに興味がある県外の人々から注目が集まった」と分析する。

複製が難しく、誰が所有しどのような取引を経たかを記録できるNFTの特性から、デジタル住民票は転売可能という点も特徴的だ。1人で複数個を保有でき、定価販

若者とのつながり生む

町づくりや交流促進に力

売額の6割と転売額の1割が町の歳入となる。同町の知名度や人気に応じて価値が上がることを考えられ、保有者による同町のPRも期待できる。住民票を手放しても購入した情報が残るため町との関係は消えないという。

デジタル住民票を手に入れたデジタル住民による交流

会は今年8日に開かれた。参加者は自分の分身「アバター」を操作し、購入した理由や同町とのつながりなどについて話した。町は交流会を継続的に開催する方針だ。菅野大志町長と直接対話ができることから、政策などを提案する場としても活用したい考え。

率は県内で最も高く、県内他自治体にとってもデジタル活用の試金石の一つとなり得る。そして何より、デジタル住民票で新たに生まれた、最先端技術に関心がある若い世代とのつながりが、同町と町民にどんな効果や変化をもたらすのかに注目したい。

(寒河江支社・渡部真美子)



デジタル住民票の保有者らが交流するインターネット上の仮想空間「メタバース」の画面

(西川町提供)

町はデジタル住民に、実際に来町して同町の魅力を直接感じてもらうことを目指している。受け入れる側のNFTなどに対する理解度向上が課題となっており、同町の高齢化

自治体の財源を作るNFTセミナー

デジタル住民との交流会をおこなったメタバースを町内の中学生が授業として体験。
メタバースを活用して西川町で何ができるかを考えました。
(NFT発行による波及効果。他県の自治体でも実施。)



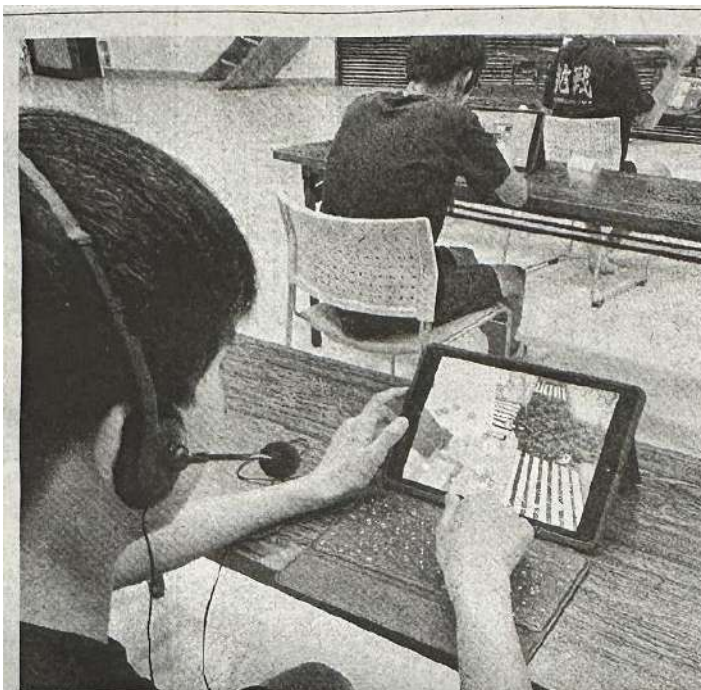
（渡部真美子）
た。
アを思いつい
ークなアイデ
そう」とユニ
できたら面白
届く仕組みが
すると実物が
りのゲームを
空間で山菜採
（15）は「仮想
遠藤陽さん
設する予定。
にしかわを開
にしかわを開
設する予定。
遠藤陽さん
（15）は「仮想
空間で山菜採
りのゲームを
すると実物が
届く仕組みが
できたら面白
そう」とユニ
ークなアイデ
アを思いつい
た。

●西川町西川中（阿部仁志校長）で24日、仮想空間（メタバース）の体験会が開かれ、3年生42人が自身の分身「アバター」の操作方法を学んだ＝写真。
●デジタル技術に触れ、地域活性化への活用策などを考えるきっかけにしようとして初めて実施した。町と包括連携協定を結ぶ東武トップツアーズ（東京）の社員が同校と、オンライン上で講師を務めた。アバターを通じて、生徒は車を運転したり、空間内で流れる動画を見たりした。



自治体の財源を作るNFTセミナー

西川町の取り組みを参考に、福島県鮫川村でも村の中学生を対象にメタバース体験会を実施しました。



自分のアバターを操作し、自由に行き来する生徒

生徒がメタバースを体験

分身（アバター）操作し楽しむ

インターネット上に構築されたメタバース（仮想空間）を歩いたり、他者とコミュニケーションし、ケーションをとったりして楽しむ体験会が10日、村公民館で開かれた。参加した中学生らが自身の分身となる「アバター」を操作し、仮想空間ならではの

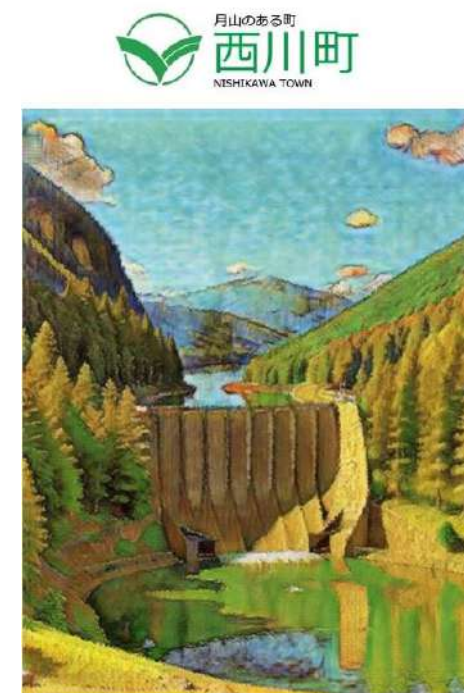
体験を楽しんだ。近未来を体験する機会を提供し、仮想空間を通じて鮫川村を考えるきっかけにしてもらおうと、村と村教育委員会が寺子屋に参加している夏休み中の中学生を対象に実施。東武トップツアーズの利重和彦さんの協力で実現

した。生徒たちはタブレット端末に出現した鮫川村の空中公園を歩いたり、ベンチに座ったり、クイズに答えたり、仮想空間を自由に行き来し、操作を楽しんだ。

体験後はメタバースを活用して鮫川村で何ができるかを考えた。生徒からは「鹿角平など村内の観光地を訪問できるようなしたい」「遠く離れていてもメタバース空間で再会できたらいい」「車やバイクの運転など子どもがやってはいけないことをやってみたい」「野球チームをつくらせてプロ野球と試合してみたい」「鮫川村のゲームをつくりたい」など、多くの意見があった。

自治体の財源を作るNFTセミナー

地域の特産品NFTの発行は、地域経済の活性化につながります。西川町の道の駅メタバーズでNFTを販売すると同時に、商品の通信販売へリンクして、商品の販売につなげています。また、西川町長自らもA IアートNFTを作成しました。



西川町長
菅野大志

自治体の財源を作るNFTセミナー



地域産品の販売増加を目的とした、道の駅にしかわメタバース



ふるさと納税の返礼品を陳列した、ふるさと納税展示館メタバース



山形県西川町は、日本で初めて実在する公園の命名権をNFT化してオークション販売を行いました。

公園の命名権NFTは、合計で47件の入札があり、130万円で落札されました。

ネーミングライツNFTを通じて地方創生を目指す取り組みとして、全国の注目を集めています。

オークション入札価格の推移



自治体の財源を作るNFTセミナー

テレビニュースや新聞記事として取り上げていただきました。



山形県西川町は11日、オンラインで1〜10日にオークションを実施した町内の「水沢名水公園」の命名権が130万円で落札されたと発表した。

命名権は、デジタル資産「NFT（非代替性トークン）」のマーケットで入札を行う方式を国内の自治体で初めて採用。町が連携協定を結ぶIT企業のメディアエクイティ（東京）が運営するNFTマーケットプレイス「ヘキサ」で1000円からスタートし、15人から47件の入札があった。

町によると、落札者はX（旧ツイッター）のアカウ
ント名「もちちゃん」。今
後、落札者が付ける公園名
で看板を設置し、菅野大志
町長が感謝状を贈る。

同時にNFTのオーク
ションを実施した菅野町長
が手がけたAI（人工知能）
アートは5万円、地ビールの
試飲と醸造所を見学でき
る権利は1万8000円で
それぞれ落札された。

町商工観光課の担当者は
「公園の命名権は想定以上
に高い金額となり、ありが
たい。財源を確保する大事
な事業として、今後は他分
野でもNFT化による販売
を継続したい」と話した。

山形・西川町がオークション 公園命名権 130万円に



命名権が落札された水沢名水公園（町提供）

今年度、政策アドバイザーとして西川町に提案した7項目

1. デジタル住民票NFTの発行
2. メタバースの設置
(デジタル住民との交流、道の駅、ふるさと納税)
3. 住民向けChatGPTの導入 (公開準備中)
4. 町立中学校の授業でのメタバース体験
5. 公園の命名権NFTの発行
6. 地域の特産品NFTの発行および特産品の通販
7. 町長が作成するAIアートNFTの発行

7項目全ての提案を採択いただきました。感謝申し上げます。
西川町的意思決定の早さが功を奏していると考えます。

【まとめ】

NFT発行は、歳出予算がなくても
今すぐに取り組める施策です。

- (1) 交流人口・関係人口の創出および拡大
- (2) 来訪者による経済の活性化
- (3) 移住・定住の促進
- (4) 知名度向上
- (5) 財源確保

貴自治体の目指すところをお聞かせください。

地域も企業も、関わるすべての人を幸せに

人が地域を創り、地域が人を育てる。地域の元気は日本の元気。



ご清聴ありがとうございました。